令和2年度 課の運営方針書

上下水道局　水道工務課

1　課の運営方針

【課の使命】
配水管更新の計画的な実施により、地震その他の災害時にも市民に安定的に給水が可能な管路を構築します。
また、給水管の適正な維持管理を行い、漏水量の減少を図り有収率の向上を実現します。

【課の目標】
①幹線管路更新事業（配水管として管網をなしている管路の中で、主要な幹線を形成している管路について更新を行い安定給水を図ります。）
・一の井手地区の配水管口径φ350mmを約173m、φ250mmを約122m更新します。
・櫛ケ浜地区の老朽管口径φ250mmを約593m、φ200mmを約168m更新します。

②重要給水施設管路更新事業（災害時の重要給水施設に供給する管路の耐震化を図ります。）
・災害時の指定避難場所及び給水拠点に指定されている菊川中学校、富田西小学校、新南陽福祉センターへ給水する配水管の布設替えを行い、耐震化を図ります。

③その他管路耐震化及び整備事業
・硬質塩化ビニル管や鋳鉄管など、老朽化した配水管の布設替えを行い耐震化率の向上を図ります。

④簡水統合に伴う管路整備事業（上水道に統合された簡易水道事業の配水管の整備と布設替を行い耐震化を図ります。）
・熊毛地区の未普及地域の配水管の整備を行います。
・鹿野地区の老朽化した配水管の布設替を行い、耐震化を図ります。

⑤漏水調査（漏水管は経済的な損失だけでなく、水圧の低下、土壌の流出、道路陥没などの原因となります。また漏水により水質汚染等の二次災害の恐れがあるため漏水調査の実施によりこれらを未然に防ぎ、水資源の有効活用を図ります。）
・配水管管路のうち硬質塩化ビニル管を対象として漏水調査を実施し、無効水量の減少に取り組みます。

【働き方改革による業務改善等の取組】
職員一人当たりの仕事量が過大にならないよう職場内でミーティングなどの情報交換の場を設けて調整を行うとともに、担当職員だけでなく課内の業務を職員全体でカバーできる職場を構築し、業務を円滑に遂行できるチームワーク造りを図ります。

2　担当（係）の使命（果たす役割）

（配水担当）
配水施設の適切な維持管理と経年化した管路の更新により、耐震化率の向上を図ります。
（給水担当）
給水装置に係る受付・審査・許可・検定業務を通して、給水の安全と安定を図ります。

上下水道局　水道工務課

3　課の経営資源

（1）課の体制

職員数	15 人	うち	正職員	15 人	・	会計年度任用職員	0 人

人件費	正職員	110,160 千円	会計年度任用職員	千円

※H30職員平均給与（　7,344　千円）ベース　　※予算計上額

（2）事業規模

歳入予算額	千円	歳出予算額	千円	（正職員人件費を除く）	担当予算事業数	7 事業

4　課の中期目標（優先順）　第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果　（最終目標）
1	7　生活基盤 4　水道の安全供給と下水道の充実 3　上下水道施設の長寿命化・耐震化	令和2年度に全管路の耐震化率31.2%、耐震適合率40.4%、基幹管路耐震適合率76.5%を達成します。
2	7　生活基盤 4　水道の安全供給と下水道の充実 1　安全な給水の確保	無効水量減少に向けた適切な漏水調査を実施し、5年以内に有収率90%以上を達成します。